

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】平成29年7月20日(2017.7.20)

【公開番号】特開2016-56986(P2016-56986A)

【公開日】平成28年4月21日(2016.4.21)

【年通号数】公開・登録公報2016-024

【出願番号】特願2014-182847(P2014-182847)

【国際特許分類】

F 24 F 11/02 (2006.01)

【F I】

F 24 F 11/02 P

F 24 F 11/02 102T

【手続補正書】

【提出日】平成29年6月8日(2017.6.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

室外機で複数の室内機を稼働させるマルチエアコンが備えられた建物のデマンド制御システムにおいて、

前記建物の消費電力値を取得する消費電力値取得部と、

前記消費電力値に基づいて予測される予測電力量が、予め設定された消費電力目標値を超えるか否かを判定し、前記予測電力量が前記消費電力目標値を超える場合には、当該超える電力量に応じて、前記室外機に対して供給される電力量を制限するような電力制御指令値を前記室外機に対して出力するとともに、前記電力制御指令値に応じて前記複数の室内機のうち稼働する室内機の台数を設定する空調機運転制御部と、

を有することを特徴とするデマンド制御システム。

【請求項2】

請求項1に記載のデマンド制御システムにおいて、

前記電力制御指令値に基づいて前記室外機が稼働している場合は、各時刻において前記設定した室内機の台数が稼働するように、各室内機を間欠・ローテーション運転することを特徴とするデマンド制御システム。

【請求項3】

請求項1又は2に記載のデマンド制御システムにおいて、

前記空調機運転制御部は、

前記室内機のうち、累積運転稼働時間が長い室内機を優先的に間欠運転し、累積運転切時間が長い室内機を優先的に間欠解除運転することを特徴とするデマンド制御システム。

【請求項4】

請求項3に記載のデマンド制御システムにおいて、

前記室内機が運転切から運転入に変化した第1の時刻、および運転入から運転切に変化した第2の時刻に基づいて変化前記累積運転稼働時間を算出する際に、前記第1の時刻は、実時刻に、(実際に運転切状態であった実運転切時間 設定されていた設定運転切時間) ÷ (設定運転切入比率 ÷ 100) を乗じた値とすることを特徴とするデマンド制御システム。

【請求項5】

建物に設けられ、室外機で複数の室内機を稼働させるマルチエアコンを制御する空調機運転制御装置において、

前記建物の消費電力値に基づいて予測される予測電力量が、予め設定された消費電力目標値を超えるか否かを判定し、前記予測電力量が前記消費電力目標値を超える場合には、当該超える電力量に応じて、前記室外機に対して供給される電力量を制限するような電力制御指令値を前記室外機に対して出力するとともに、前記電力制御指令値に応じて前記複数の室内機のうち稼働する室内機の台数を設定することを特徴とする空調機運転制御装置。

【請求項 6】

室外機で複数の室内機を稼働させるマルチエアコンが備えられた建物のデマンド制御方法において、

前記建物の消費電力値を取得し、

前記消費電力値に基づいて予測される予測電力量が、予め設定された消費電力目標値を超えるか否かを判定し、前記予測電力量が前記消費電力目標値を超える場合には、当該超える電力量に応じて、前記室外機に対して供給される電力量を制限するような電力制御指令値を前記室外機に対して出力するとともに、前記電力制御指令値に応じて前記複数の室内機のうち稼働する室内機の台数を設定することを特徴とするデマンド制御方法。